

NEWS LETTER

釜石・遠野地協第三〇回年次大会を開催

地域に貢献する運動の推進を意思統一

釜石・遠野地協は十一月十九日(月)に釜石市で第三〇回年次大会を開催しました。年次大会では、「地域に根ざした運動展開」「組織強化・人材育成」「各級選挙闘争推進」などを提起した二〇一九年度運動方針案や予算案を可決し、一層の運動の推進に向け意思統一しました。

年次大会では、東北電労・柳本雄朗代議員を議長に選出し、釜石・遠野地協の大和田理議長があいさつ、震災復興、地域フォーラム、ワールドカップなどをはじめとする地協運動への一層の結束を訴えました。引き続き、来賓を代表して連合岩手・八幡博文会長から祝辞をいただきます。

その後、一般経過報告や決算などの「報告事項」と運動方針案や予算案などの「審議事項」の説明・提起を行いました。「二〇一九年度運動方針案」では、「地域の労働者・生活者の雇用と生活の安心・安定」「地域づくりへの貢献」を軸とし、

「地協独自のFacebook開設」「尾崎半島への植林」「連合平和行動への派遣補助」「青年委員会活動を考える会」での議論「各級選挙の取り組み」「連合岩手の地域フォーラム成功に向けた取り組み」など九〇回記念メモリー「開催」などの運動に取り組み方針を提起し、承認されました。大会では、全議案を承認した後、「大会アピール案」を採択し、最後に大和田議長の「団結ガンバリウ」で二〇一九年度の釜石・遠野地協の運動推進を意思統一しました。



大会冒頭であいさつする釜石・遠野地協の大和田議長



連合岩手・八幡会長から祝辞をいただく

青年組員が主体的に議論「青年委員会活動を考える会」を開催へ

釜石・遠野地協は、青年委員会結成を展望しながら二回にわたり「青年組員意見交換・交流会」を開催して意見交換を行ってきました。「意見交換・交流会」を通じて、青年委員会結成を前提とせずに地協活動のなかでの青年活動のあり方や課題の議論を進

めながら、その解決のために取り組みを考える必要性についての意見がだされました。地協では、これらの意見をふまえ、十二月一日に「青年委員会活動を考える会」(仮称)を開催し、青年組員が主体的に青年活動を考える取り組みを進めます。

結成30周年に向け、さらに一步前へ 連合岩手第30回年次大会を開催

連合岩手第30回年次大会

八幡会長あいさつ（要旨）

◆大阪北部地震、西日本豪雨災害、台風21号、北海道胆振東部地震と多くの自然災害により犠牲になられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災者の皆様にお見舞いを申し上げます。連合岩手は引き続き、被災者に寄り添った活動を展開する。

◆2018春季生活闘争について、全体では昨年と同水準で、賃上げの流れは力強く継続。一方、大企業と中小企業との絶対水準の差が拡大傾向にあり、地場・中小が多い岩手では、大手との賃金水準額の差が課題。加えて未組織労働者の底上げに向けた「地方最低賃金」は、早期に1000円達成とあわせ、これ以上の全国との格差の拡大に歯止めをかける必要がある。

◆実質賃金は低下傾向、原油高も相まって苦しい状況が継続。格差是正に向けた所得の再分配を強化した税制全体の見直しが必要であるが、増税対策と人材不足への対応を含めた次期春季生活闘争方針の「組み立てと知恵出し」が重要。「地域フォーラム」を継続開催し地域における労使の認識の共有にも努める。労働分配率の拡大が持続的成長につながるの確信を基本に取り組み。

◆政治と来年の各種選挙について、働く者の立場に立った働き方改革の実現、野党が足並みをそろえて国民目線を意識した政権への追及が必要。連合岩手は、来年の参院選をはじめとした岩手における各種選挙態勢についても、協力関係にある労働団体・政党と連携し政権に対峙した勢力の結集に向け力を注ぐ。

◆具体的運動方針案について、昨年の定期大会で確認された2年間の運動方針に基づき提案。連合岩手と構成組織・地協が連携強化し、震災復興をはじめとした政策・制度要望の取り組みや、未組織労働者の底上げのための最低賃金の引き上げ、特にこの1年間においては、働き方改革関連法の施行も意識しつつ、職場での集団的労使関係の構築が企業の持続的発展と発展に寄与し、労働者の幸せにもつながる考え方、組織拡大に取り組む。併せて来年12月の結成30周年を機に運動を総括し、構成組織と連合岩手の役割分担の検証や地協の機能の見直しも含め、本部の見直し方針を踏まえつつ、40年50年を見据えた運動体の構築を目指す。連合岩手が常に労働者に寄り添うことにより、常に社会から信頼される組織となるよう、「更に一步前へ」を合い言葉に、構成組織・地協との信頼をベースに取り組み決意である。

「具体的運動方針」など全議案を承認



連合岩手年次大会であいさつする連合岩手・八幡会長

連合岩手は一〇月二
六日（金）盛岡市「岩手
教育会館」で「第三〇回
年次大会」を開催しまし
た。
今年度は中間年にあ
たることから昨年の定期
大会で確認された方針を
基本とした具体的な運動
方針などを議論する大会
となりました。
八幡会長の冒頭、連合岩手
の結成三〇周年を機
に、さらに連合岩手が社
会から信頼される組織と
なるよう取り組む決意を
表明するとともに、参院
選をはじめとする各種選
挙での政権に対峙する考
えを明らかにしました。

（会長あいさつ参照）。
報告・議事では「二〇
一八春季生活闘争等のま
とめ（案）」「第二五回参
議院議員通常選挙の基本
方針（案）」「二〇一九年
度具体的運動方針（案）」
などが提案されました。
出席代議員から「給付
型奨学金の取り組みと政
治闘争の推進」「財政状
況と予算執行のあり方」な
どについて発言があり、
すべての報告・議案が可
決・承認されました。
引き続き「大会アピ
ル案」「スローガン」を採
択し、八幡会長の「団結
ガンバロウ」で大会を閉
じました。

みんなのそばに、いつも安心を

マイカー共済

全労済だけの 最大22等級 掛金64%割引

東北ろうきん ウィンターキャンペーン

Winter campaign 2018

11/1<木> ▶12/31<月>